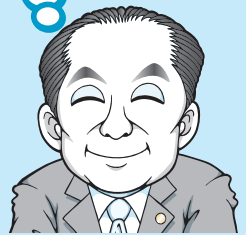


# 町長の一言



## 戦争をめぐる

8月初旬の炎天の日、例年の「反核平和の日」リレー広島・長崎の原爆投下を風化させないキャラバン隊」が到着しました。

戦後63年を経過した今もなお原爆の後遺症に悩んでいる人達が数多くいる現実。原爆投下により一般市民が無差別爆撃により犠牲になったことを語り継いで核兵器廃絶を訴えていこうというキャラバン隊であります。

戦争が激化するにつれ、日本への爆弾投下が軍事目標から無差別爆撃になっていったと言われていますが、原爆投下を命令した者、実行したB29エノラ・ゲイの乗組員が、罪に問われたということはありません。先日、小泉堯史監督の映画「明日への遺言」を観ま

した。物語は米軍爆撃機の搭乗員を処刑した罪によりB級戦犯として裁かれ、昭和24年9月、死刑に処せられた東海軍司令官岡田資中将の姿を軍事裁判を通して描いたものです。責任は司令官としての自分にあるが、戦闘員が非戦闘員の市民を無差別に爆撃する非を、弁解でなく信念を持って「法戦」として裁判で論争を挑んだものであり、その誇りと品格を、私どもも再認識せねばと同感を持つて観て来ました。

戦勝国が正義とされ、敗戦者を裁いた史実。「歴史は常に勝者の手によって書かれる」という言葉をかみしめ、その理不尽さに疑問を持ち続けることが必要ではないかと思っているとこ

## 文芸しるさと

### 俳句



みんみんや傾きてあたる掛時計  
飯 田 勇 一  
明けてより鳥のア・カペラ夏の朝  
山 崎 正 行  
子との距離いつしかはなれ蓬径  
飯 村 愛 子  
玫瑰や浜辺も沖も荒れ模様  
森 静 江  
葎茶屋十割蕎麦のうす緑  
鯉 淵 寿美恵  
徳孝みの恵みの雨をよるこべり  
いそべ きよ  
草の香のにじむ螢を手にのせし  
仲 田 まちゑ  
夏木立子等と遠出の雲湧けり  
中 野 千賀子  
夏休み山の曲り木起こしけり  
飯 村 昭 子  
流行はめぐり来るもの藍浴衣  
今 瀬 多代美  
電灯のひも揺らす風日照草  
田 所 厚 子  
丸木橋ひらりとくぐり鬼やんま  
高 橋 芦 江  
夏座敷声が似てると夫の言ひ  
竹 内 幸 子  
撮つてみて撮られてしまひ秋祭  
瀬 谷 博 子  
重し上げ感動に満ち梅を干す  
岩 下 金 司  
精一杯咲きしアザミに微ぐ風  
田 口 勝 元  
初咲きの朝顔ひとつ涼しげに  
東 見 登美子  
雷や猫を見送る我が家かな  
富 田 欽 子

### 短歌



弱りたる足を鍛へん土手を駆く  
「バラグミ」は紅の色増しあて  
宮 本 ふみ江  
はらからは二人となりあてたづきを  
をば思ひ思はる老いの日々なり  
所 美恵子  
「記念樹」の沙羅の花咲き清純なる  
孫はすこやかに十二歳になる  
青 柳 京 子  
元気にて働けることはいいものと  
娘にはげまされ今日も草とる  
山 形 式 妙  
ほろほろと柿の花こぼれ寺庭  
に梅雨のひと日の暮れ泥みあて  
渡 辺 千紗子  
紫の花咲き初めし長茄子の紫  
紺色なる漬物待たる  
秋 山 愛 子  
田の土手を草刈りてゆくつゆ晴れ  
にみどり田柔々吾をいざなへば  
大 森 久 子  
朝軽き足の運びも日ぐれには  
義足にも似て歩みの重し  
佐 川 あ や  
子報の雨を晴天に替え竹子師  
の歌碑は自筆の滑らかなる文字  
杉 山 みちこ  
新茶の香り味わう朝のひとと  
きも七父を偲び話しはずみぬ  
阿良山 ウメノ  
干し棹に大輪朝がおのぼりゆく  
現り行く世のニュースからめて  
仲 田 こ う  
夢枕立ちて去り行く父親は胃  
癌の我を心配してか  
岩 下 美知野  
蠅の声聞きながらどっぷり  
と湯船に浸かり疲れ癒さむ  
岩 下 通 子

### 川柳



朝緑ピンクの色や今朝開く朝顔に似た大輪の花  
市 川 義 子  
風に揺るる乙女のような谷敷の花はにかみいるか淡きくれない  
枝 不 美  
本を手に午後をソファにまごころめ  
ばいつか笛吹きケトル鳴りある  
片 見 和 枝  
見る人も無き若の花ふとみつけ芭蕉の詠みし句を口ずさむ  
川 上 千代子  
木もれ陽のかすかに揺れる葉桜の歩道帰る高校生らのひとときわ清し  
島 愛 子  
孟宗の若竹に解れ背を整す氣を貫ひたり竹叢のみち  
多 田 志保子  
すばらしくうれし事があったよと孫の合格七き夫に告ぐ  
坪 井 きよ子  
他の命奪うことなど無かるべし少しの幸せ感じて居れば  
萩 谷 登喜子  
「人生は死に至る戦いである」と記せる芥川の遺言見つけたりと語り  
富 田 佐智子  
草むしり草が後から追いかける  
青 木 新三郎  
物価高下がらぬ妻の体脂肪  
富 田 多 蔵  
ツバメ飛ぶ夏の香りの山の宿  
永 井 英 陽  
夏祭りヨチヨチゆかた屋台見え  
中 島 芳 春  
家事万端こなす男に嫁が来る  
山 本 隆 荘